

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	せいしん保育室ビーオンクローバー
施設所在地	京都東村山市野口町1-46ワズタワー2
法人名	学校法人精心学園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) ◎本物に触れる体験を理念としている当保育室にとって、本物の楽器に触れる機会を多く設けることで音への興味・関心を育みたいと考えた。また、身近な音や様々な音の違いに気づき、感じる力を育てることをねらいとする。

2. 活動スケジュール

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
様々な本物の楽器を用意した。楽器を子どもたちが自ら主体的に取り日常的に触れられるよう、楽器を置く棚を用意した。日々の保育の中で遊びに多く取り入れる様にした。クリスマス会や、学園祭など、日々の楽器に触れ遊んだ成果を保護者の前などで披露する経験が出来るよう設定をした。音に集中できる落ち着いた環境設定を行った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

日常の保育の中で本物の楽器に触れる経験が出来るよう、普段触れることが出来ないような楽器を購入した。楽器用の棚に置くことで、主体的に遊びの中で楽器に自然と触れられるようにした。自ら楽器を選んだり、他児とともに楽器を演奏するなど「音」を楽しむ様子が見られていた。「音楽の日」を日案に取り入れ、楽器に触れ「音」に大いに親しんだ。行事では、楽器の正しい使い方や、音の慣らし方、またみんなで一緒に演奏するピアノの伴奏に合わせて演奏することも体験出来た。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) ◎日常的に楽器に触れる◎「音楽の日」を設け様々な楽器を通して「音」に触れた。 ◎様々な楽器を目の前にし、目を輝かせて楽器を選び音の違いを楽しんでいた。自然と歌いだし、歌に合わせて楽器を演奏する姿があった。自ら楽器を持ってきて友達同士並んで楽器を演奏するなど音楽を通じた交流も生まれた。 ◎「せんせい、〇〇をやろう！」などリクエストをして好きな曲を演奏し楽しんでいた。保育の中で、職員が様々な楽器を子ども



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

「音」をテーマにすることによって、より音楽へ関する興味、関心が深まった。本物の楽器を用意することで、楽器に触れ、様々な「音」に日々の保育の中で日常的に触れることが出来たのはとても良かった。楽器を置く棚を用意し、子どもが自ら主体的に楽器に触れ、遊びに取り入れることが出来た。クリスマス会などでの行事に合奏を取り入れることで、楽器をみんなで演奏することの楽しさを感じることが出来た。また、楽器を友達同士で演奏をしたり、楽器を通して物の貸し借りを学ぶなども出来た。何より、楽器の演奏をする際の子どもたちの探求心を満足したものに出来たことが素晴らしかったと思う。